



オープンした地域福祉ターミナルの内部。子供用の絵本も完備している

## 当別の福祉活動の拠点

# 「ターミナル」オープン

## 来月は共生型地域サロン

【当別】町内の福祉活動の中心となる「町内弥生にオープン共生型地域福祉ターミナル」が二十七日、町内弥生にオープンした。ボランティア活動

をした町民たちの情報提供場所としてだけでなく、地域住民の交流の場としての役割も期待されている。

ターミナルは、町内の道医療大OBらでつくるNPO法人「当別町青少年活動センターゆうゆう24」が国の補助金約三千万円で建設。木造平屋一部二階建てで、延べ面積は百七十九平方メートル。町社会福祉協議会のボランティアセンターが入り、一階でボランティア情報を提供する。子供たちが遊べる「地域交流スペース」や、二階には会議室もある。八月四日からは、ターミナルを通じて紹介

を受けたボランティア活動をする。町内商店街で使えるポイントカードにポイントが加算される。

就労支援の拠点となる「共生型地域オープンサロン」を建設しており、八月四日にオープン予定。障害者の働く場としてカフェや駄菓子屋などが設けられ、

地域住民による利用を見込んでいる。ゆうゆう24の大原裕介所長は「ターミナルとサロンが当別の福祉充実のきっかけになれば」と話している。(郡義之)